Windows10のサポート終了に伴う

Windows11への移行について

２０２５年1月４日

２０２５年1月２５日改定

エルエス・テック合同会社
代表　黒石浩之

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

初めに

・本資料の記載内容については、今後お断りなく変更される場合があります。
・本資料の全部または一部を許可なく転送・転載・転用することはしないでください。
・記載されている会社名、商品名などは一般に各社の商標または登録商標です。TM,©、Rは割愛しています。
・本資料は全ての環境で保証するものではありません。資料に基づく操作はご利用者の責任に基づいて行ってください。資料の間違いも含めて、この資料によってご利用者に生じた損害について当社は一切補償いたしません。

２０２５年１月２５日	頁５変更	Microsoftの価格改定への対応

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

内容

１．Windows10のサポート終了
２．Office製品のサポート終了
３．その他製品のサポート終了
４．Windows11への移行
５．Windows11の必要要件
６．Windows11への十分要件
７．Windows11への選択肢
８．まとめ
Appendix1．Windows11の必要要件の確認方法
Appendix2．Windows11の十分要件の確認方法

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

１．Windows10のサポート終了

マイクロソフト社によるとWindows10は
２０２５年１０月
をもってサポートを終了するとされています。

サポート終了後、Windows10が使えなくなるわけではありません。
“サポート終了”とは、以下の提供がなくなるとアナウンスされています。

・テクニカル サポート
・機能更新プログラムまたは新機能
・品質更新プログラム (セキュリティと信頼性の修正を含む)

“品質更新プログラム ”は、いわゆる脆弱性への修正ということになり、以降新たに見つかった不具合には（一般には）対応しないということになります。

LS-Tech
Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

2．Office製品のサポート終了

マイクロソフト社は、Office製品に対してもサポート終了をアナウンスしており、ご利用されている方は、これらも検討が必要になります。

Office 2016

- ライフ サイクルの開始日: **2015 年 9 月 22 日**
- メインストリーム サポートの終了日: **2020 年 10 月 13 日**
- 延長サポートの終了日: **2025 年 10 月 14 日**

Office 2019

- ライフ サイクルの開始日: **2018 年 9 月 24 日**
- メインストリーム サポートの終了日: **2023 年 10 月 10 日**
- 延長サポートの終了日: **2025 年 10 月 14 日**

Office 2021

- ライフ サイクルの開始日: **2021 年 10 月 5 日**
- メインストリーム サポートの終了日: **2026 年 10 月 13 日**

基本的にはサブスクリプション形式のMicrosoft365への移行を図っているように思われましたが、従来型の買取ライセンスで最新版がアナウンスされました。

＊2025年1月にCopilotが利用可能になり値上げされました。

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

3．その他製品のサポート終了

もう一つ重要なことは、WindowsやMS Officeなどマイクロソフト社以外のソフトウェアの動向になります。
基本的には、サポートが切れた**Windows10は、動作保証外になっていく**ものと思われます。Windows10とWindows11は、現状は上位互換性が高いのでこれもたちまち困ることはないかもしれませんが、特にコンピュータウィルス対策ソフトについては注意が必要です。いわゆるパターンファイルの提供などに影響する可能性もありますので、動向の確認をするようにしましょう。
マイクロソフト社以外の製品は、動作保証の責任上Windows10では具体的に動かなくするというような処置を施す可能性がありますので注意しましょう。

LS-Tech
Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

４．Windows11への移行

コンピュータウィルス（ランサムウェア等含む）等による情報漏洩のニュースが絶えることのない今日この頃です。インターネットはもう生活の一部になっています。使えるとはいえ、できるだけ安全な状態（ベース）で使うことを心がけましょう。

・できれば、Windows11へ移行しましょう。
・無理ならば、有償サポートを利用しましょう。

これらについて次節以降で解説します。

＊Windows11にしたからと言って、絶対に安心ということではありません。

LS-Tech
Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

5．Windows11の必要要件

基本的にWindows10からWindows11へは無償でアップグレード可能です。ただし、マイクロソフト社の必要要件を満たす必要があります。概ね以下の通りです。＊確認方法は、後述。

プロセッサ	**1 ギガヘルツ** (GHz) 以上で 2 コア以上の**64 ビット互換プロセッサ**または System on a Chip (SoC)。
メモリ	4 ギガバイト (GB)
ストレージ	64 GB 以上の記憶装置 注: 詳細は下記の「Windows 11 を最新状態に維持するために必要な空き領域についての詳細情報」をご覧ください。
システム ファームウェア	UEFI、セキュア ブート対応。お使いの PC がこの要件を満たすようにする方法については、**こちら**をご覧ください。
TPM	**トラステッド プラットフォーム モジュール** (TPM) バージョン 2.0。お使いの PC がこの要件を満たすようにする方法については、**こちら**をご覧ください。
グラフィックス カード	DirectX 12 以上 (WDDM 2.0 ドライバー) に対応。
ディスプレイ	対角サイズ 9 インチ以上で 8 ビット カラーの高解像度 (720p) ディスプレイ。

Windows 11 の仕様とシステム要件 | Microsoft　より抜粋

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

６．Windows11への十分要件

マイクロソフトの必要要件は、”動く“最低条件と言う意味で、使用に耐えうるかどうかという観点があります。当社の経験を踏まえてWindows1１へ移行しても使用に耐えうるかどうかの観点から以下を**十分要件**として定義します。

＊あくまでも当社の経験上のものであり何かに基づいたものではありません。

①**ストレージ**がHDD（ハードディスク）タイプのものでなく
SSDタイプのものであること

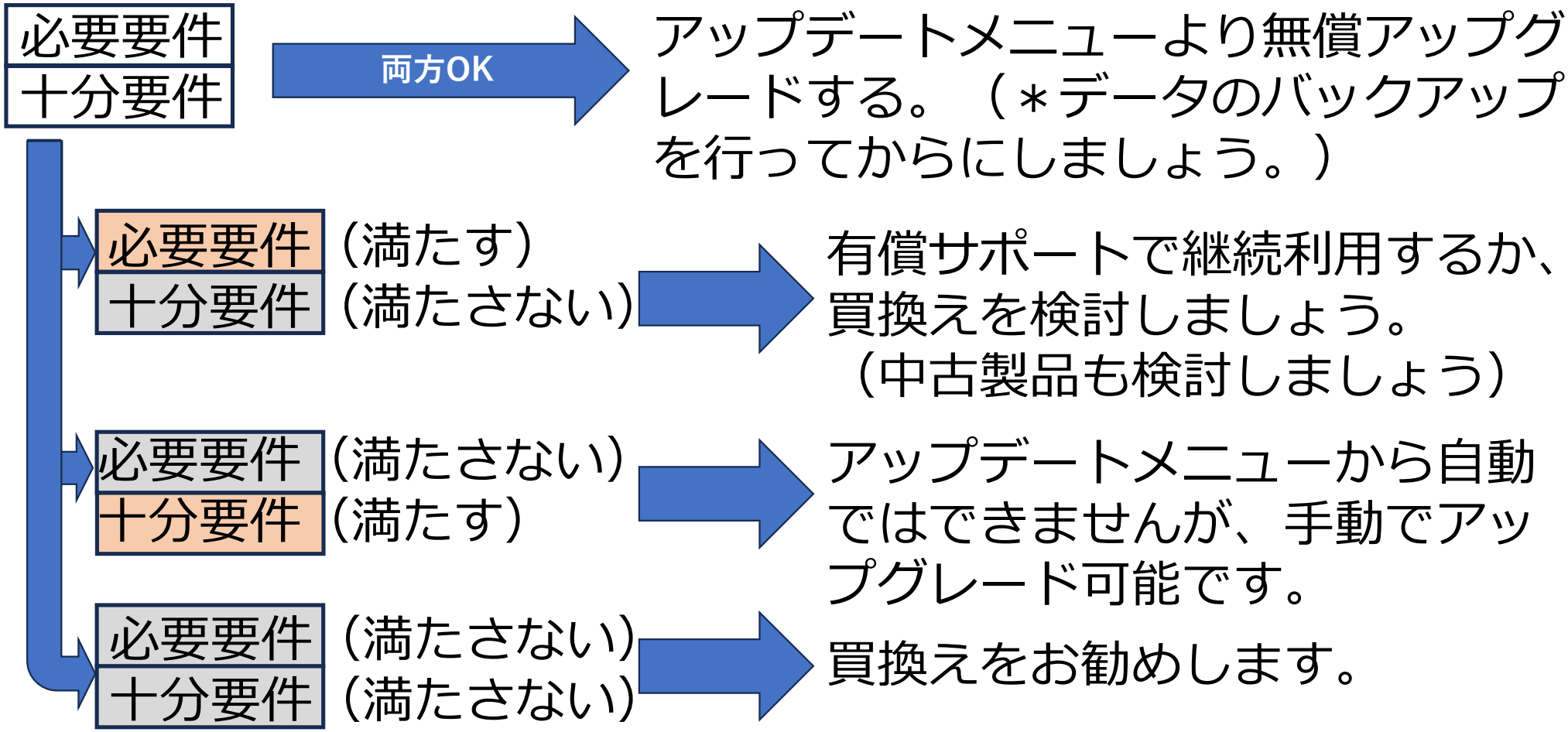
②**メモリー**が**８GB以上**あること

③古いパソコンでは**CPU**が**core i5**相当以上が望ましい。
また、空き領域として５０GB程度が必要です。
（＊なければ、データを整理するなどして作りましょう。）

重要度は、①＞②＞＞③になります。

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

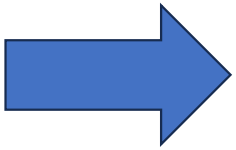
7．Windows11への選択肢



Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

７．Windows1１への選択肢

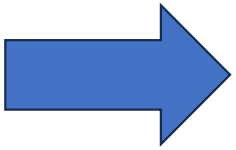
必要要件（満たす）
十分要件（満たさない）



有償サポートで継続利用するか、
買換えを検討しましょう。
（中古製品も検討しましょう）

*中古PCの場合、業者側でSSDへの交換やWindows11へのアップグレードを行っています。また、Office製品も付属しているものも多いですが、冒頭のようにOffice製品のバージョンにも注意しましょう。

必要要件（満たさない）
十分要件（満たす）



アップデートメニューから自動ではできませんが、手動でアップグレード可能です。

*手動アップグレードの方法については、インターネットにも豊富に公開されておりますが、不安という方は当社までご相談ください。（場合により有償対応になる場合があります。）

LS-Tech
Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

８．まとめ

Windows１０及びOffice製品をお使いの方は、どうしたものかという思いの方も多いと思います。使えなくなるわけではないのでなおさらです。
特に、企業（個人事業主なども含む）では、サポート切れの状態で使い続けるのは企業責任として問題視されることになりますので、有償サポートを使うなど対策を進めましょう。
個人の方は、あまりパソコンは使わないという方は大丈夫と思わず、なおさら注意して対処するようにしましょう。
Windows11や有償サポートにしても大丈夫ということではありません。あくまでも最低ラインに立つための対応になります。
快適なパソコンライフのための参考になれば幸いです。
ご不明なことがあれば、お問い合わせください。

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix1．Windows11の必要要件の確認方法

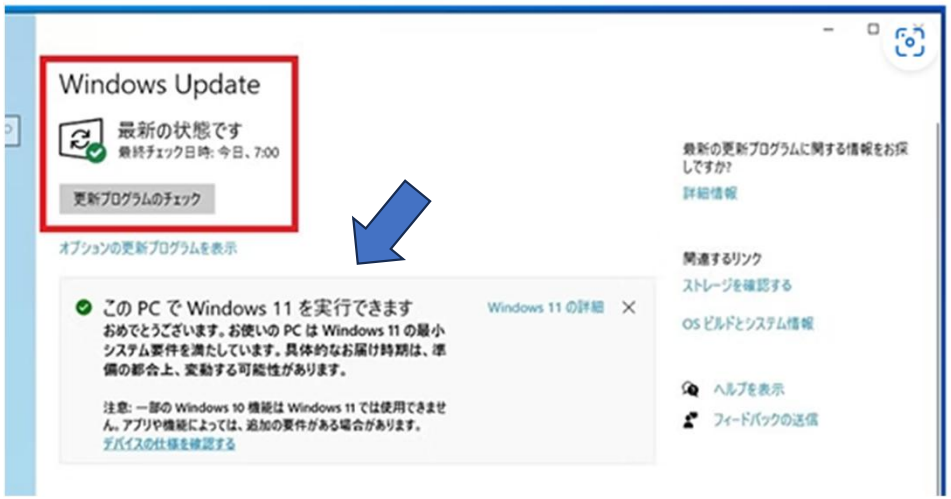
パソコン上で要件を満たすかどうかの確認ができます。
スターメニューから“設定”（歯車アイコン）を選択します。

“設定”ダイアログから
“更新とセキュリティ”
を選択します。

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix1．Windows11の必要要件の確認方法

次のような表示になっていれば、要件を満たします。
逆に要件を満たさない場合は、赤くその旨表示されます。



Windows 11 無償アップグレード方法や条件を解説 - Microsoft for business　より抜粋

いづれも表示がなければ、マイクロソフトのチェックアプリで確認することができます。

LS-Tech
Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

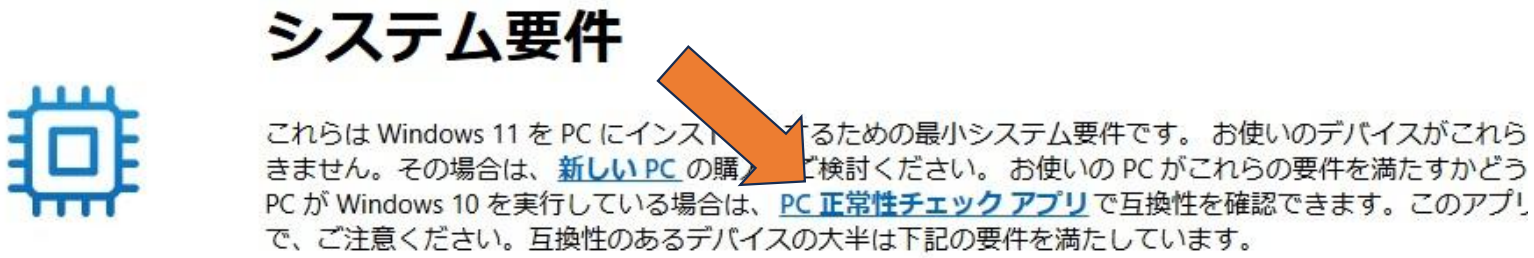
Appendix1．Windows11の必要要件の確認方法

先ほどの“更新とセキュリティ”をスクロールし、“ハードウェアの要件を確認する”をクリックします。

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix1．Windows11の必要要件の確認方法

マイクロソフトの要件確認ページが開かれますので、以下の“PC正常性チェックアプリ”をクリックします。



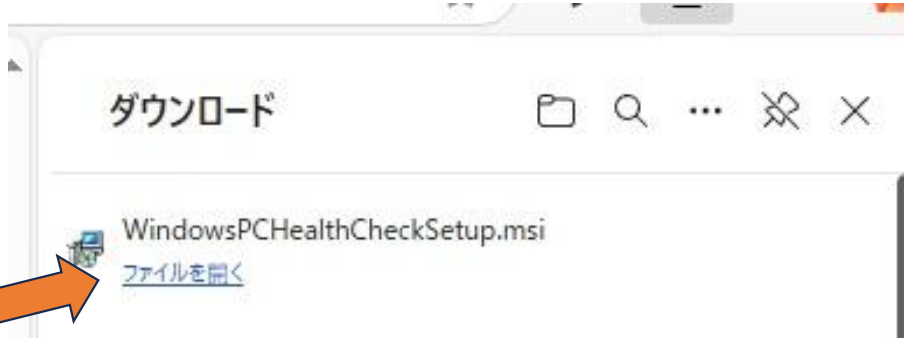
“PC正常性チェックアプリ”をダウンロードします。

クリック

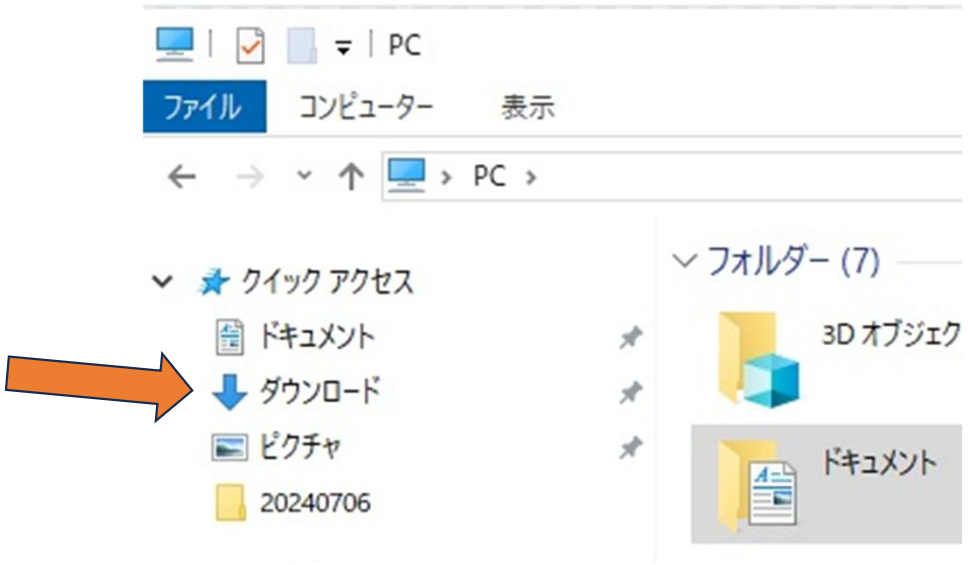
Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix1．Windows11の必要要件の確認方法

ブラウザ右上にステータスが表示されます。DLが終了したら、“ファイルを開く”をクリックします。



表示が消えてしまった場合は、エクスプローラーを開き、“ダウンロード”を開くとこのファイルがありますので、それをダブルクリックして開きます。
インストールが始まります。



Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix1．Windows11の必要要件の確認方法

インストールが終わるとそのまま実行します。

或いはスタートメニューから

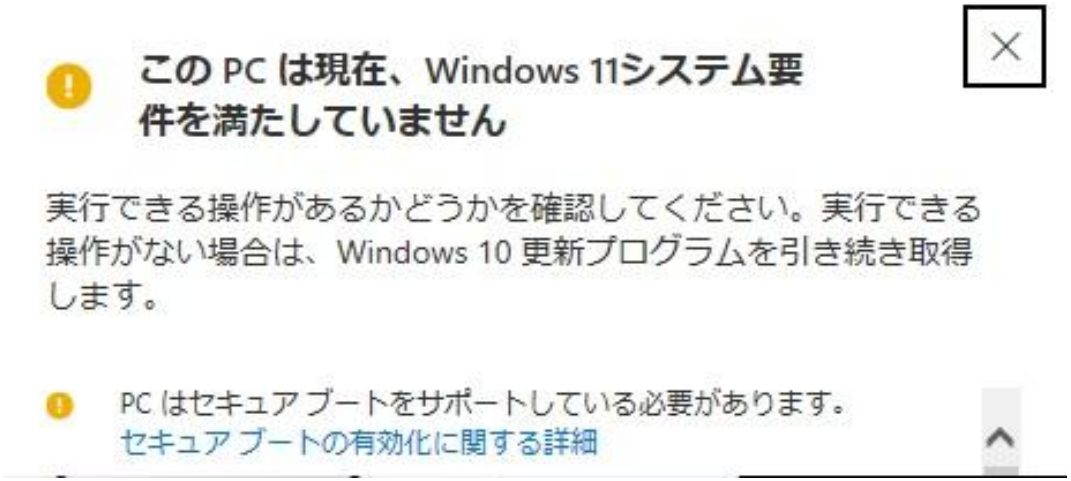
をクックして実行します。

[今すぐチェック]をクリックします。

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix1．Windows11の必要要件の確認方法

少し待つと結果が表示されます。
以下は、満たさない場合の表示例です。



Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix２． Windows11の十分要件の確認方法①

パソコン上で要件を満たすかどうかの確認ができます。
スターメニューから“設定”（歯車アイコン）を選択します。

“設定”ダイアログから“システム”を選択します。

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix２． Windows11の十分要件の確認方法①

プロセッサ（CPU）
Intel core-i5,AMD Ryzen 5xxx相当以上が望ましい。
＊古いパソコンを想定した場合、上記型番が望ましい。

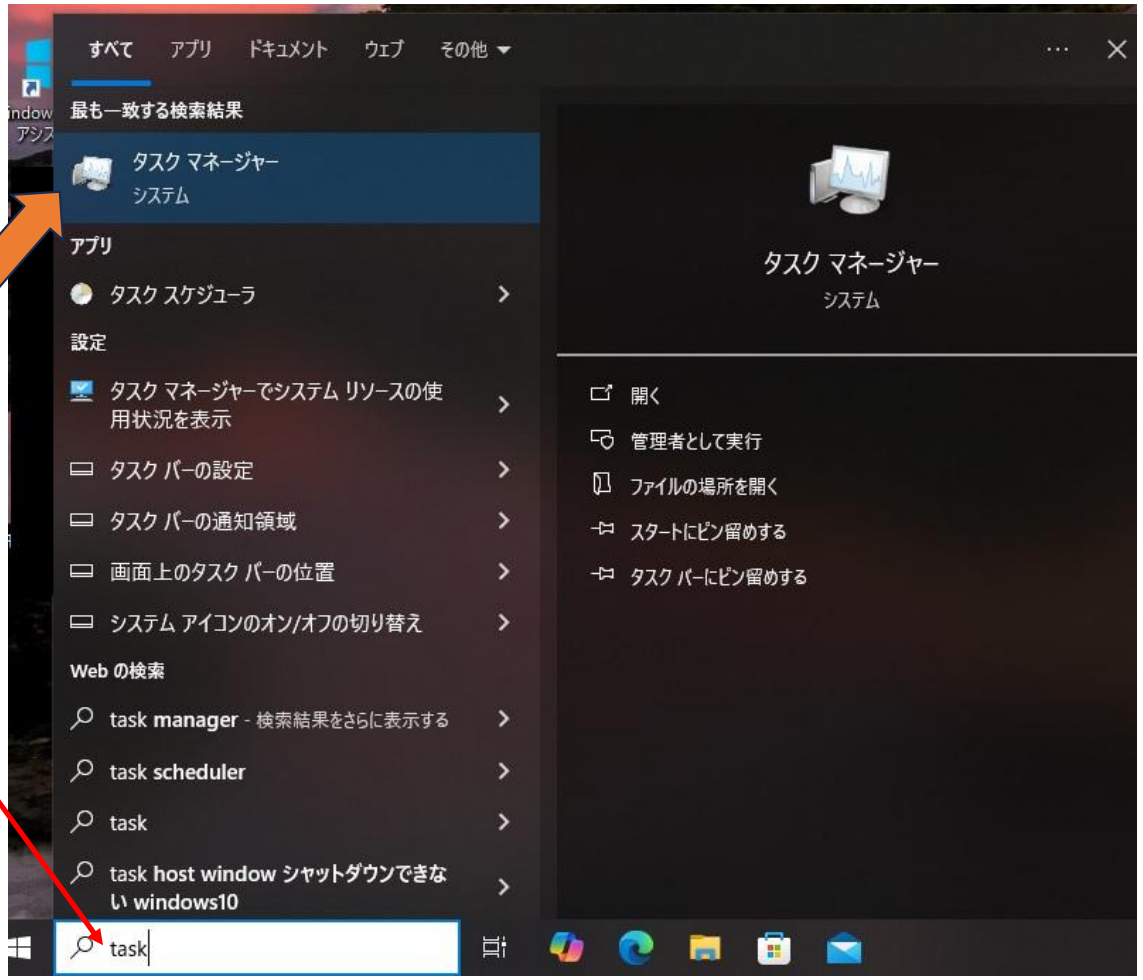
メモリー
8.00GB以上が必須
＊公式な必要条件は４GB以上ですので、動かないことはないですが、お勧めはいたしません。

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix２． Windows11の十分要件の確認方法②

十分条件は、タスクマネージャーで確認することができます。
スタートメニュー横の検索に”task”と入れると

タスクマネージャーが検索されます。
“タスクマネージャー”をクリックします。

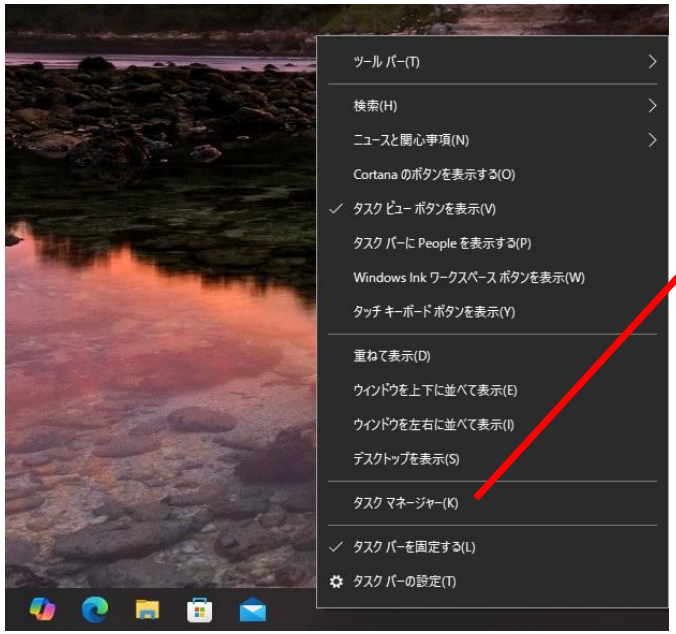


Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix２． Windows11の十分要件の確認方法②

タスクマネージャーはタスクバーより起動することもできます。
画面下のタスクバー上のアイコンがない部分で右クリックします。。

この辺りで右クリック



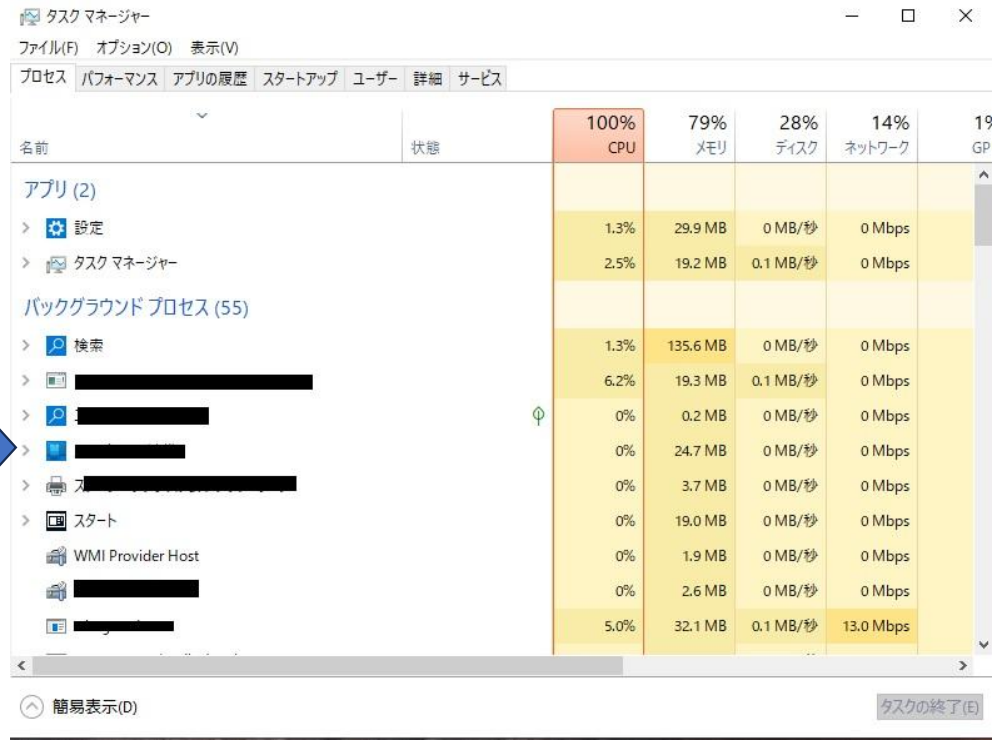
[タスクマネージャー]をクリック

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix２． Windows11の十分要件の確認方法②

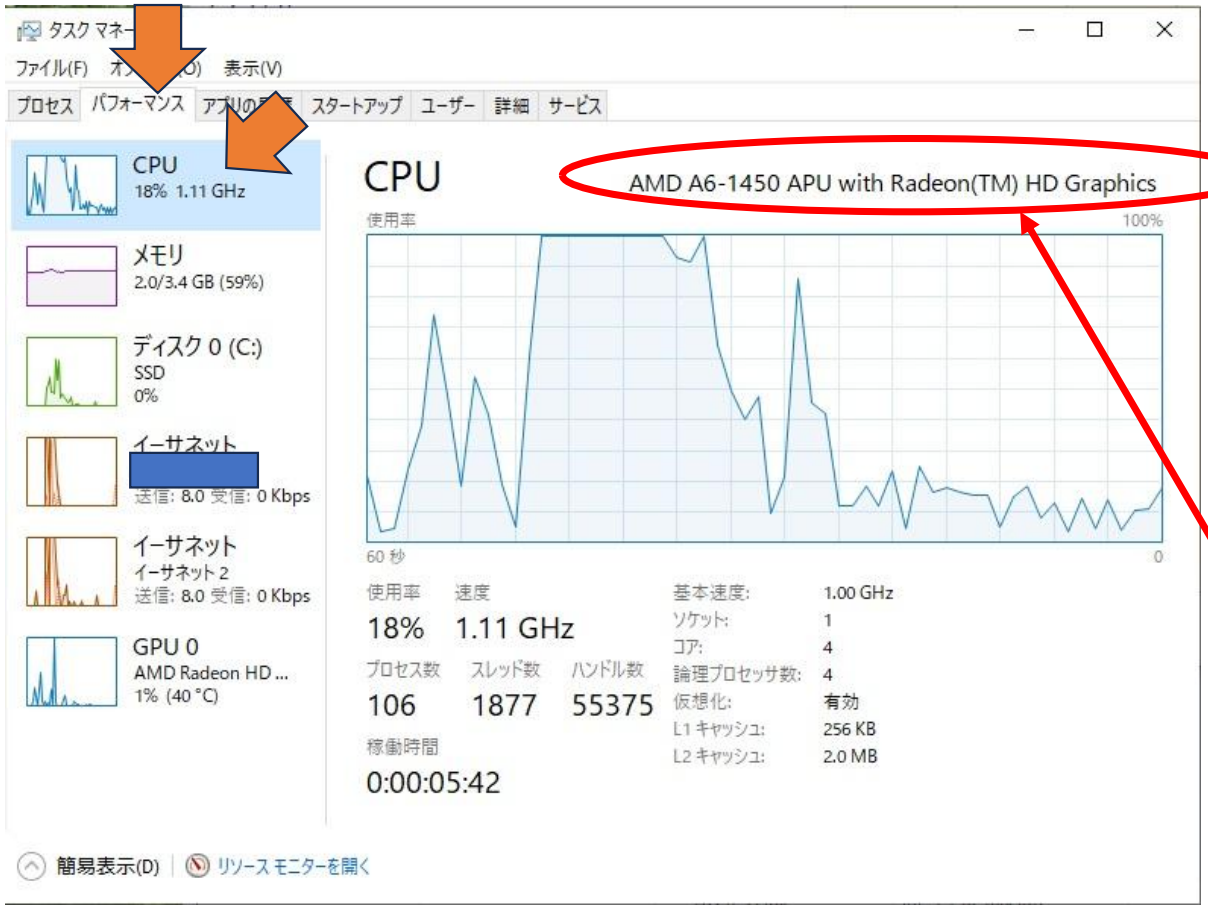
タスクマネージャーでは、パソコンの状態を知ることができます。

“詳細“をクリックします。
詳細表示になります。
＊お使いのパソコンによって
内容は変わります。



Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix２． Windows11の十分要件の確認方法②

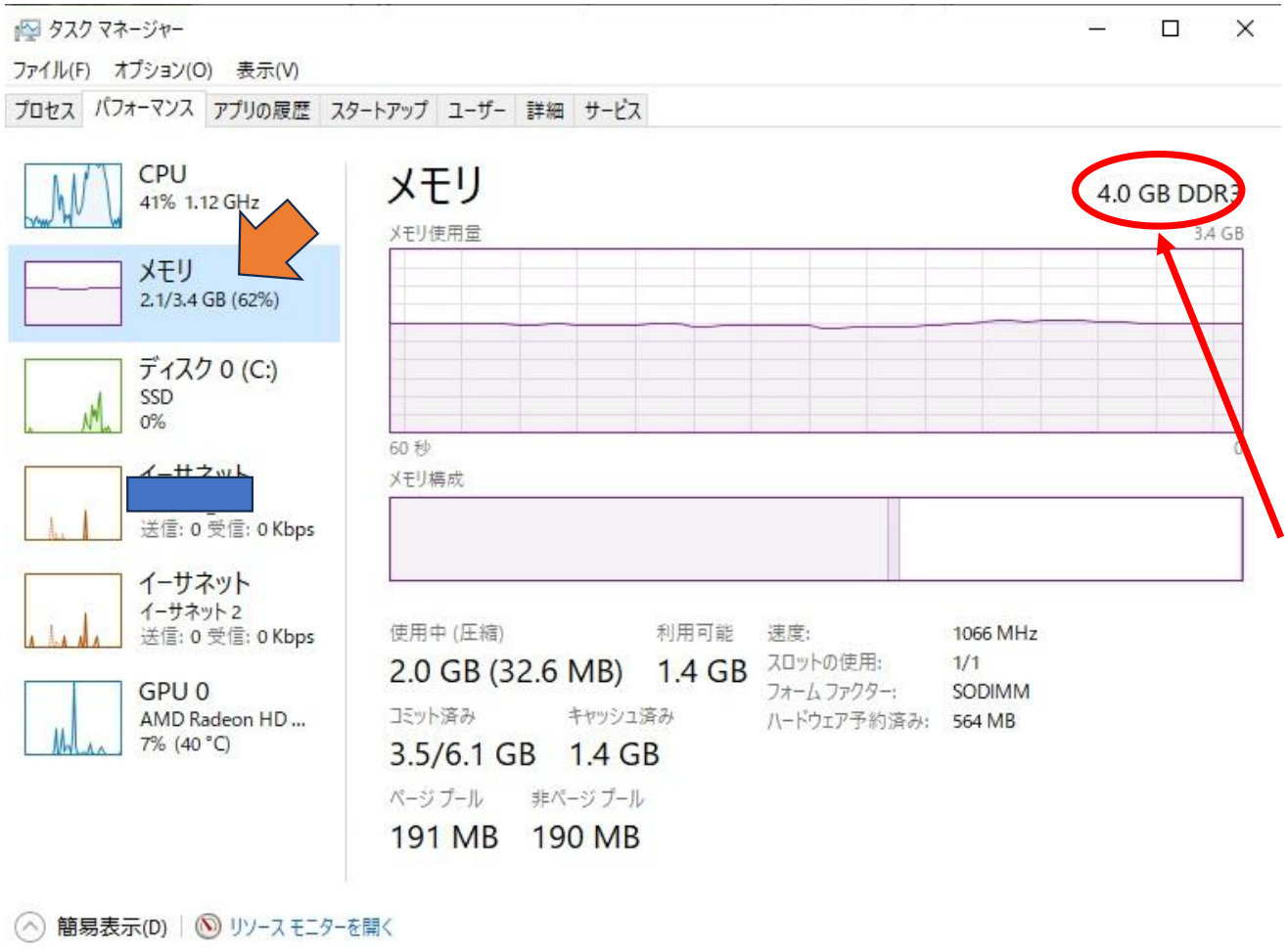


詳細表示から“パフォーマンス”タブを選択します。

次に左メニューからCPUをクリックします。
CPUの詳細情報が表示されます。
ここでは型番を確認します。
PentiumやCeleron等の場合は、少し能力不足が懸念されます。

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

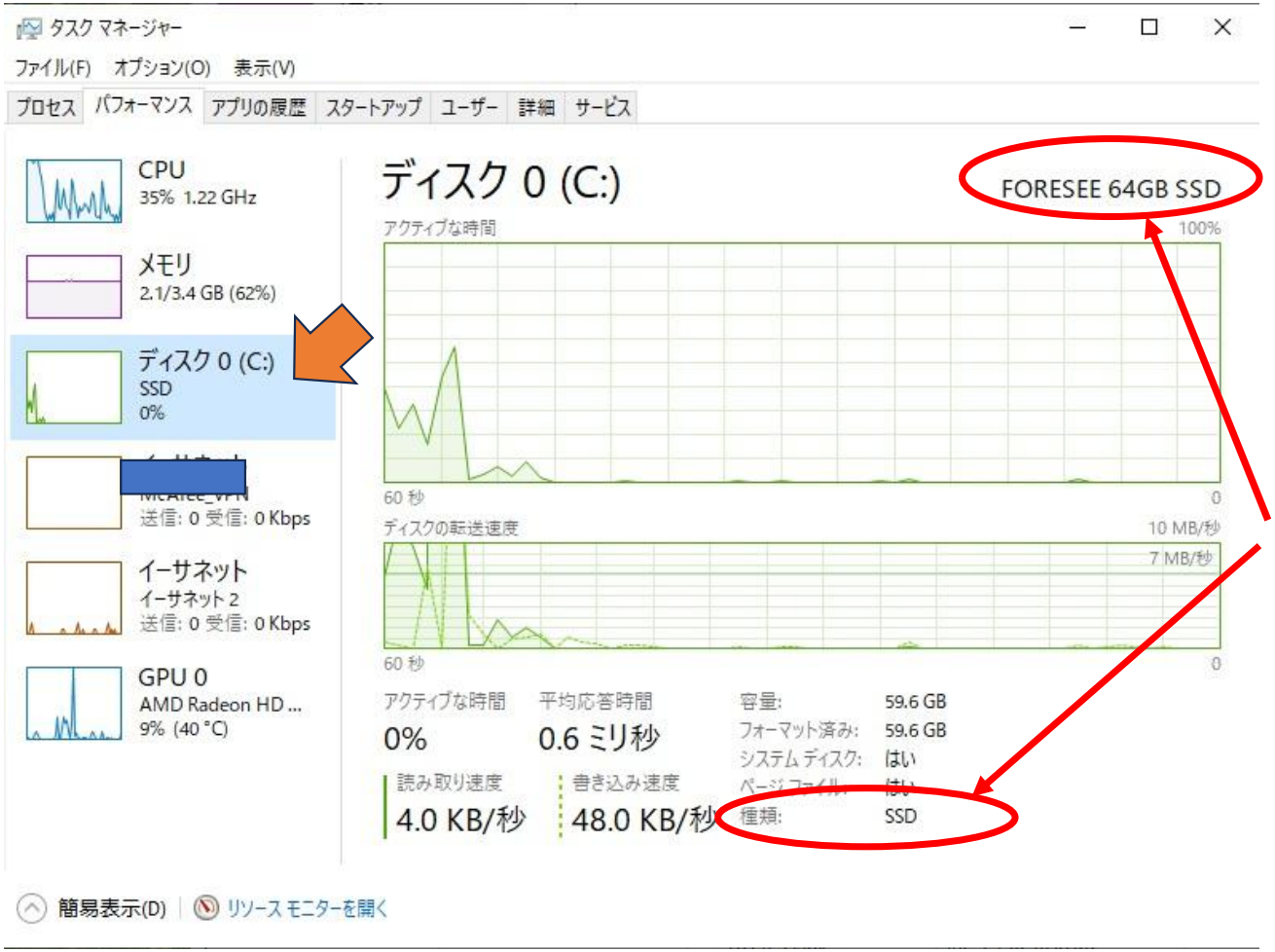
Appendix２． Windows11の十分要件の確認方法②



続いて左メニューから“メモリ”をクリックします。
メモリの詳細情報が表示されます。
ここではメモリサイズを確認します。
８GB以上になっていることが望ましいです。

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix２． Windows11の十分要件の確認方法②

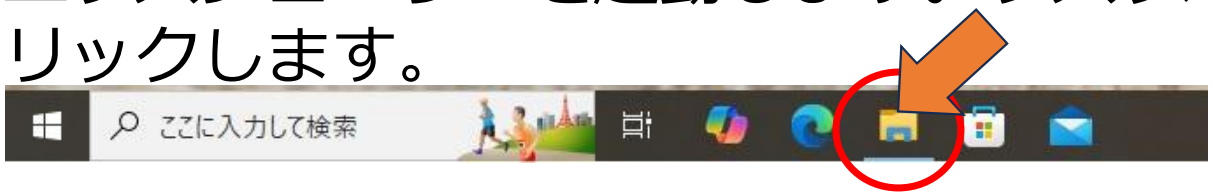


続いて左メニューから“ディスク０（C：）”をクリックします。
ディスクの詳細情報が表示されます。
ここではディスクサイズと種類を確認します。
SSDとなっていること。

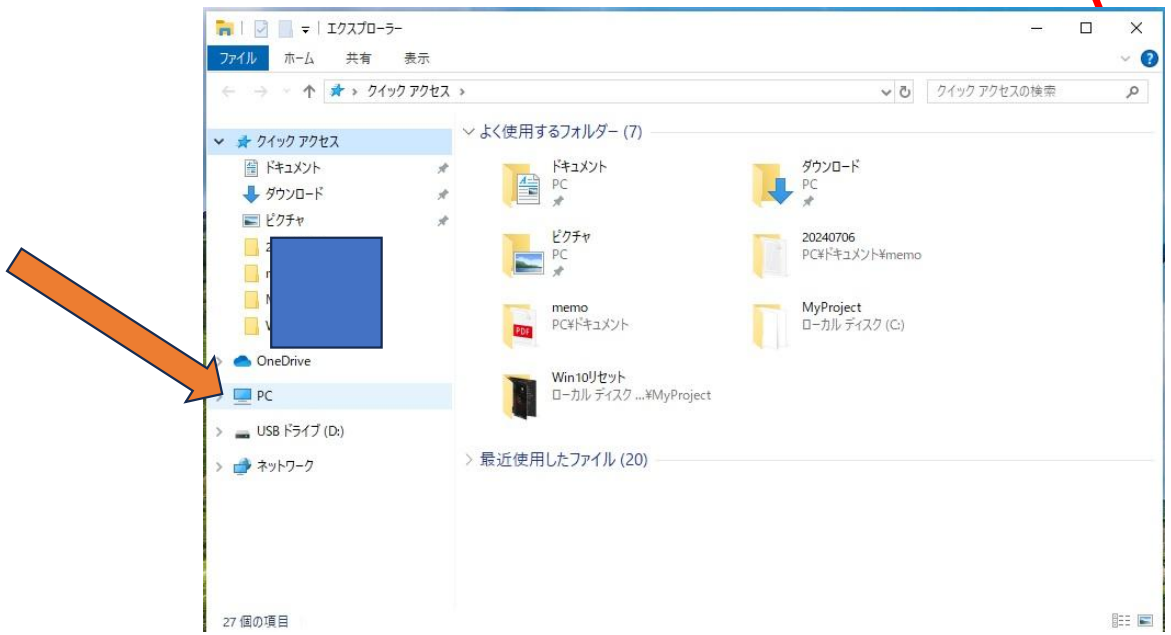
Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix２． Windows11の十分要件の確認方法②

続いてディスクの空き容量の確認を行います。
エクスプローラーを起動します。タスクバーのエクスプローラーをクリックします。

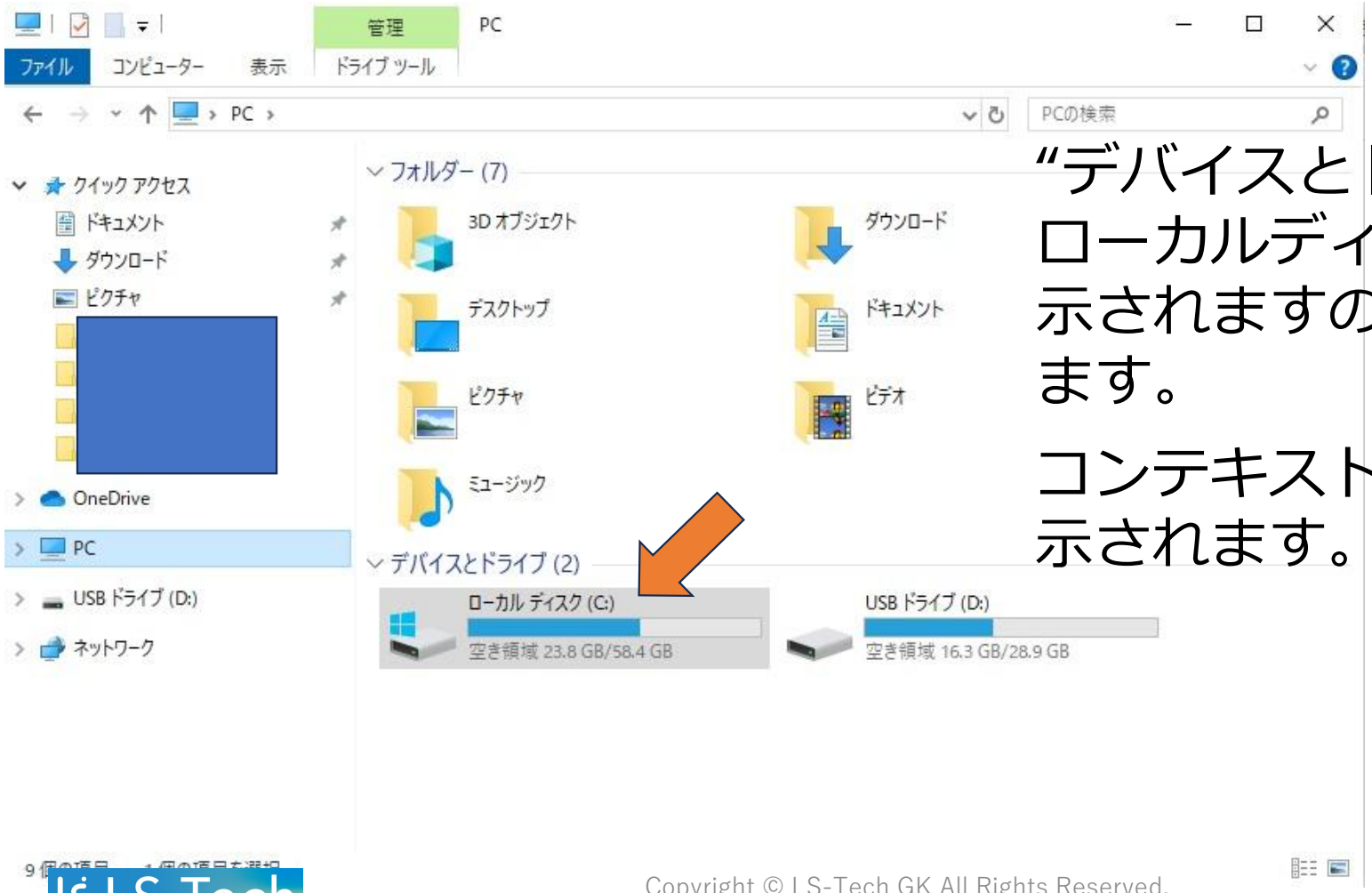


エクスプローラーが開いたら“PC”をクリックします。



Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix２． Windows11の十分要件の確認方法②

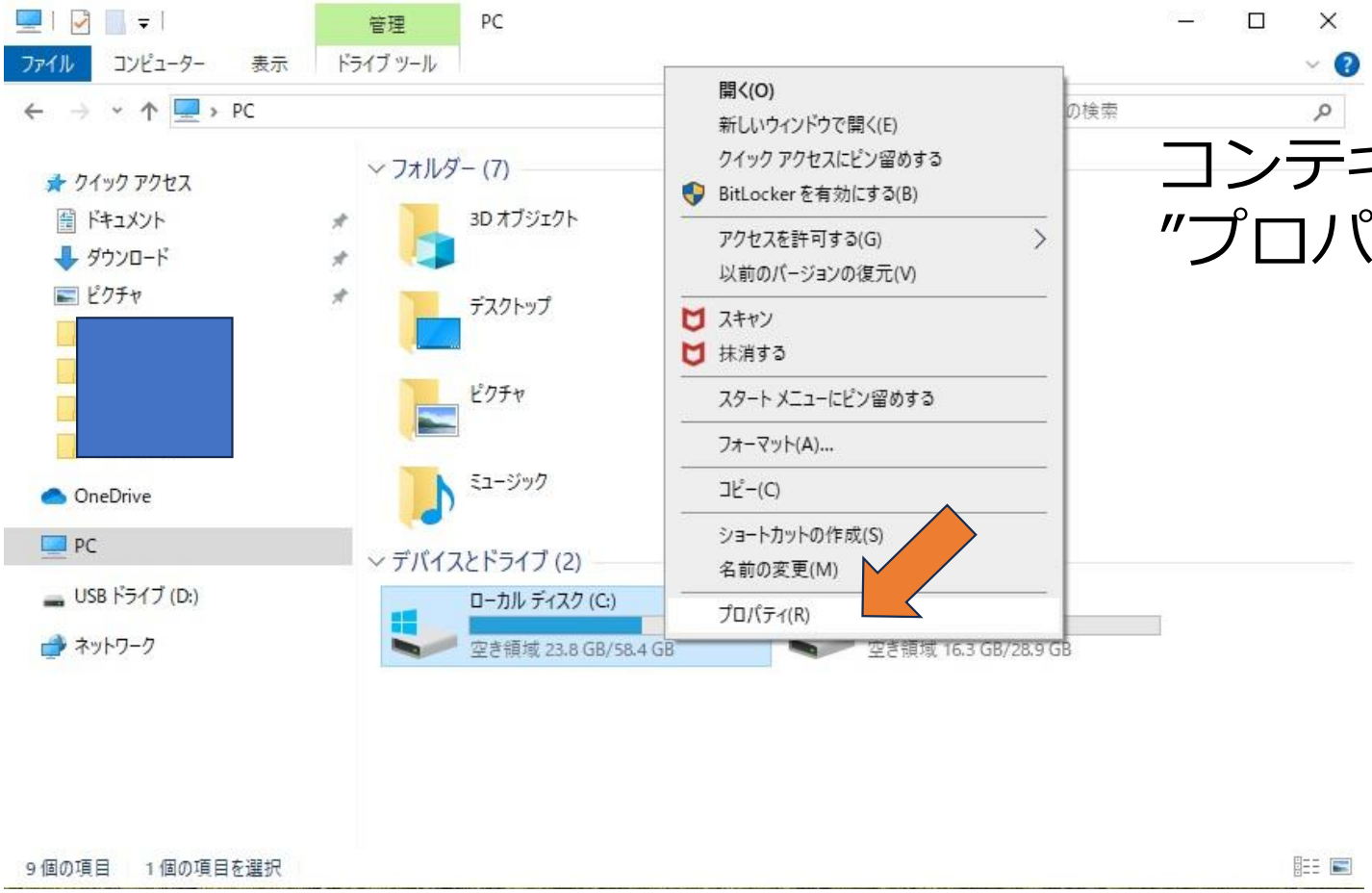


“デバイスとドライブ“の表示で”ローカルディスク（C:）”が表示されますので、右クリックします。

コンテキストメニューが表示されます。

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

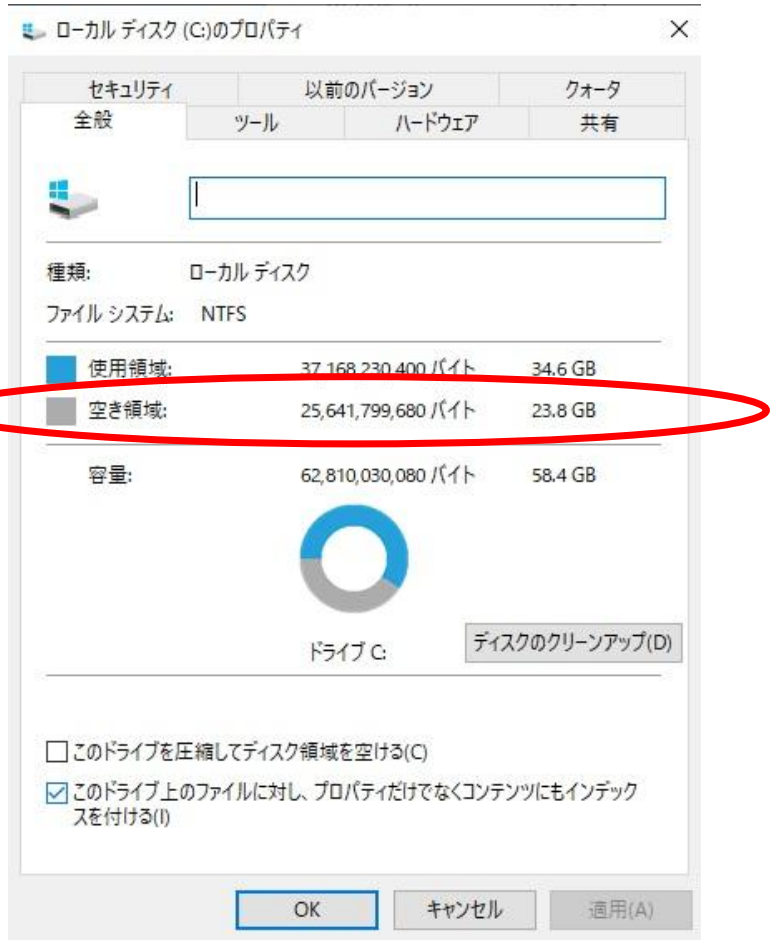
Appendix２． Windows11の十分要件の確認方法②



コンテキストメニューから
”プロパティ“を選択します。

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.

Appendix２． Windows11の十分要件の確認方法②



“ローカルディスク（C:）のプロパティ“ダイアログが表示されます。

空き領域が３０GB以上あることを確認します。なければ不要なファイルをできるだけ削除します。
＊一時的に必要とする領域になります。
＊デスクトップの“ごみ箱”を右クリックして“ごみ箱を空にする”等。

Copyright © LS-Tech GK All Rights Reserved.